

使用上の注意点

Solaris 版 SAS[®] 9.1.3

インストールを行う前に、必ずお読みください。

概要

『使用上の注意点』には、SAS ソフトウェアをインストールまたは使用する前に知っておく必要のある問題が記載されています。また、問題の修正方法や解決方法についても記載されています。『使用上の注意点』は、SAS ソフトウェアのさまざまな側面に関して書かれていますが、同様の内容がほかのドキュメントにも記載されている場合があります。しかし、インストールと一般のシステム上の問題は、このドキュメントに含まれている内容がすべてです。

最新版の『使用上の注意点 (Alert Notes)』は、次の Web サイトから入手できます (この Web サイトから入手できるドキュメントは英語版となります。最新の日本語版のドキュメントは、日本語版インストールセンター (<http://www.sas.com/japan/service/documentation/installcenter/>) を参照してください)。

http://support.sas.com/techsup/search/alert_search.html

SAS ソフトウェアに関する今後作成される『使用上の注意点 (Alert Notes)』の情報を迅速に入手するには、貴社のサイト担当者が TSNEWS-L を購読する必要があります。購読するには、電子メールの本文に「SUBSCRIBE TSNEWS-L」と入力し、LISTSERV@VM.SAS.COM に送信してください。詳細は、次の Web サイトを参照してください (英語による提供となります)。

<http://support.sas.com/techsup/news/tsnews.html>

『使用上の注意点』や TSNEWS-L メーリングリストに記載されていない内容についてのサポートが必要な場合は、SAS インストール担当者や SAS コンサルタントを通して SAS 社のテクニカルサポートにご連絡ください。日本のお客様用の電話番号は、(03) 6434-3680 です。

SAS Software Depot

既存 SAS ソフトウェアデポへの Service Pack メディアの追加禁止

既存の SAS ソフトウェアデポに対して、SAS Service Pack のメディアを追加しないようにしてください。

CD から直接 Service Pack をインストールするか、または選択した場所に CD をコピーしてそこから Service Pack をインストールしてください。

新たに既存の SAS ソフトウェアデポからインストールする場合、最初にその SAS ソフトウェアデポからインストールを行い、それから『SAS 9.1.3 Service Pack インストール手順』に記載されている手順に従って、Service Pack を適用してください。

インストールの詳細については、次の Web サイトにある『SAS 9.1.3 Service Pack インストール手順 (Installation Instructions – SAS 9.1.3 Service Pack)』の「Service Pack の適用」を参照してください。

[英語]

http://support.sas.com/documentation/installcenter/the_sas_system/9.1.3_TS1M3/servicepack_install.pdf

[日本語]

http://www.sas.com/offices/asiapacific/japan/service/documentation/installcenter/the_sas_system/9.1.3_TS1M3/servicepack_install.pdf

SAS Note SN-014839 に、この問題が記載されています。

SAS Software Navigator

アジア言語のマシン上で SAS Software Navigator を起動すると文字の代わりにブロックが表示される

言語と地域の設定が、日本語、韓国語、中国語のいずれかに設定されているマシン上で SAS 9.1.3 Software Navigator を起動すると、SSN の右側のウィンドウに文字の代わりにブロックが表示されます。

インストール手順のセクションは英語のためコンテンツを読むことが可能ですが、バンドルされたパッケージ概要の情報は、ブロックとして表示されるため読むことができません。

この問題は、インデックスモードでインストールする場合で、かつ、ソフトウェアバンドルの概要ページでのみ起こります。

この問題は、SAS のインストール、プロダクト自体、もしくは SAS Software Navigator の機能に影響を与えるものではないため、インストーラを使用するか、以下の 2 つの代替手段のうち 1 つを使用することを選択できます。

- プランもしくはアドバンスモードでインストールする
- インストーラの言語として英語を選択することにより、SAS Software Navigator のすべてのコンテンツを英語で表示する

注意：この手順は、インデックスモードでインストールする時のみ必要です。

これは、SAS の今後のバージョンで修正されます。

SAS Note SN-017456 に、この問題が記載されています。

サーバー層 (Server Media 使用)

Service Pack 1 および Service Pack 2 が !SASROOT/sasv9.cfg ファイルを上書きする

Service Pack1 のインストール中に、!SASROOT/sasv9.cfg ファイルのバックアップが !SASROOT/install/admin/backups/sasv9.cfg/yyyyyy.zzz に作成され、新しい sasv9.cfg ファイルが !SASROOT ディレクトリに配置されます。そのため、既存の sasv9.cfg ファイルに対して何らかの変更を加えている場合 (-MEMSIZE、-WORK など)、ファイルが上書きされて無効になります。

Service Pack2 のインストールにおいても、SAS に対して事前に hot fix を適用している場合は、同様に上書きされます。

既存の sasv9.cfg に対する変更を新しい sasv9.cfg に反映した状態で使用するには、バックアップディレクトリに保存されている sasv9.cfg ファイルから変更部分をコピーします。

Service Pack を正しく動作させるためには、いずれの hot fix のパスもバックアップファイルから !SASROOT/sasv9.cfg ファイルにコピーしないでください。

SAS Note SN-014541 にこの問題が記載されています。

Service Pack 4 に含まれるユーザー認証の設定の変更

Service Pack 4 から、ユーザー認証に使用されるメンテナンスファイルの場所が Service Pack によるアップグレードを改善するために変更されました。

この Service Pack を使用すると、sasauth、sasperm、もしくは elssrv ファイルにメンテナンスが必要な場合、!SASROOT/utilities/bin ではなく、新しいディレクトリである !SASROOT/utilities/bin/setuid にアーカイブして、直接送られます。

Service Pack 4 では、elssrv および sasauth にメンテナンスが必要であり、これらのファイルのみが新しいディレクトリに送られることに注意してください。以前のバージョンの UNIX Foundation インストーラのように、インストール後の処理において rootuid パスワードを使用することにより、通常のインストール後の処理の一部としてユーザー認証を校正することもできます。ファイルが一旦移動されると、現在新しい setuid ディレクトリにあるファイルは utilities/bin ディレクトリに、それから setuid ルートに移動します。また、ユーザーは後から SAS Setup Run Setup Utilities メニューを使用して、この設定の実行を選択できます。

『UNIX 版 SAS 9.1.3 Foundation インストールガイド』の第 5 章は、追加手順 (mv setuid/*) を含むように更新されました。これは、新しい sasauth および elssrv モジュールを取得するために追加されました (以下の「方法 2」を参照してください)。この手順が省略されると、予期しない結果が生じる場合があります。「ユーザー認証の設定」のセクションには、現在次のように記載されています。

SAS プロダクトや機能によっては、SAS によるユーザー認証やファイルアクセス権限のチェックが必要になります。これには、SAS インストールの中の特定のファイルが、setuid で実行でき、かつオーナーが root であることが必要です。SAS ソフトウェアを使用する全てのユーザーに対して、ユーザー認証の設定が必要です。設定の変更は、次のいずれかの方法で行うことができます。

方法 1 : SAS セットアップを使用する

1. ルートアカウントにログインします。
\$ su root
2. !SASROOT/sassetupで、SASセットアップを実行します。
3. SASセットアップの最初のメニューで、[Run Setup Utilities] を選択します。
4. [Perform SAS Software Configuration] を選択します。
5. [Configure User Authentication] を選択します。

方法 2 : コマンド行を使用する

Tru64 UNIX

```
$ su root
# cd !SASROOT/utilities/bin
# mv setuid/* .
# chown root elssrv sasauth sasperm
# chmod 4755 elssrv sasperm
# chmod 6755 sasauth
# chgrp auth sasauth
# exit
```

その他の UNIX 環境

```
$ su root
# cd !SASROOT/utilities/bin
# mv setuid/* .
# chown root elssrv sasauth sasperm
# chmod 4755 elssrv sasauth sasperm
# exit
```

SAS Note SN-017313 に、この問題が記載されています。

ミドル層 (Mid-Tier Media 使用)

ATI Rage XL ビデオドライバの使用時に、Java ベースのプロダクトで問題が発生する

ATI Rage XL ビデオドライバの使用時に、Java ベースのプロダクトで問題が発生する場合があります。問題は、ATI Rage XL バージョン 5.0.2195.5005 および 5.0.2195.5012 で発生しています。問題が発生する Java ベースのプロダクトには、SAS Software Navigator も含まれます。Java のインストールも影響を受けます。これらのプロダクトおよびインストールは、Sun Microsystems の JRE 1.4.1 に依存しています。問題は、JRE 1.4.1 と ATI Rage XL ビデオドライバの組み合わせで、SAS プロダクトを使用するときに発生します。

回避するには、ATI Rage XL ビデオドライバのバージョンを 5.0.2195.5022 以降に更新してください。

SAS Note SN-012187 に、この問題が記載されています。

クライアント層 (Client Media 使用)

ATI Rage XL ビデオドライバの使用時に、Java ベースのプロダクトで問題が発生する

ATI Rage XL ビデオドライバの使用時に、Java ベースのプロダクトで問題が発生する場合があります。問題は、ATI Rage XL バージョン 5.0.2195.5005 および 5.0.2195.5012 で発生しています。問題が発生する Java ベースのプロダクトには、SAS Software Navigator も含まれます。Java のインストールも影響を受けます。これらのプロダクトおよびインストールは、Sun Microsystems の JRE 1.4.1 に依存しています。問題は、JRE 1.4.1 と ATI Rage XL ビデオドライバの組み合わせで、SAS プロダクトを使用するときに発生します。

回避するには、ATI Rage XL ビデオドライバのバージョンを 5.0.2195.5022 以降に更新してください。

SAS Note SN-012187 に、この問題が記載されています。

SAS Grid Manager

SAS Grid Manager Control Server はグリッドに含まれる全てのサーバーが使用可能な場所 (パス) にインストールする必要がある

SAS Grid Manager Control Server を UNIX システム上に設定する場合、シェルスクリプト `sasgrid.sh` は、グリッド上の全てのノードで同じディレクトリパスにおく必要があります。

例えば、グリッドに 3 つの UNIX ノード (AIX、Solaris、HP) が含まれる場合、`sasgrid.sh` のインストールロケーションは、3 つのサーバー全ての共通ディレクトリである `/bin` とすることができます。

SAS 管理コンソールから、[Logical Grid Server] のプロパティを選択し、[SAS Command] が `/bin/sasgrid.sh` と定義されていることを確認してください。

SAS Note SN-016242 に、この問題が記載されています。

SAS Grid Manager Control Server への連続したサインオン/サインオフによりサーバーのセグメンテーションバイオレーションが発生する

SIGNON と SIGNOFF コマンドが SAS Grid Manager Control Server で発行され、その後、2 回目の SIGNON コマンドが発行された場合、タスク（言語）でのセグメンテーションバイオレーションが発生することがあります。

この問題は、LSF 環境変数が SAS 共有ライブラリで定義されなくなってしまうために発生します。

この問題に対する SAS 9.1.3 (9.1 TS1M3) での修正が下記の場所から入手できます。

http://ftp.sas.com/techsup/download/hotfix/e9_dbcs_prod_list.html

SAS Note SN-016244 に、この問題が記載されています。

著作権情報

このマニュアルの正確な書籍情報は、以下のとおりです。

Alert Notes -- SAS® 9.1.3 for Solaris

Copyright® 2008, SAS Institute Inc., Cary, NC, USA.

本書は、発行元であるSAS Institute, Inc.の事前の書面による承諾なく、この出版物の全部あるいは一部を、電子データ、印刷、コピー、その他のいかなる形態または方法によって、複製、転送、または検索システムに保存することは禁止されています。これらの説明書は著作権により保護されています。

著作権保護を受ける本書の使用の範囲は制限されています。許される使用の範囲とは、使用者のシステムに保存して端末に表示すること、本書が提供された目的である、SAS プログラミングおよびライセンスプログラムのインストール・サポートの責任者が使用するために、必要な部数だけコピーすること、および特定のインストール要件を満たすように内容を修正することを指します。本書の全部あるいは一部を印刷する場合、またはディスプレイ媒体に表示する場合は、SAS Instituteの著作権表示を明記する必要があります。上記の条件以外で本書を複製または配布することは一切禁止されています。

アメリカ合衆国政府の制約された権限についての通知

アメリカ合衆国政府による、本ソフトウェアおよび関連するドキュメントの使用、複製、公開は、「FAR52.227-19 Commercial Computer Software-Restricted Rights」（1987年6月）に定められた制限の対象となります。

SAS Institute Inc., SAS Campus Drive, Cary, North Carolina 27513.

SAS®およびSAS Instituteのプロダクト名またはサービス名は、米国およびその他の国におけるSAS Institute Inc.の登録商標または商標です。

®は米国で登録されていることを示します。

その他、記載されている会社名および製品名は各社の登録商標または商標です。

英語版更新日 November 7 2007

Solaris版SAS® 9.1.3 使用上の注意点

2007年12月14日 第3版第11刷発行 (913K41)

発行元 SAS Institute Japan株式会社

〒106-6111 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー11階

本書の内容に関する技術的なお問い合わせは下記までお願い致します。

SASテクニカルサポート

TEL: 03(6434)3680 FAX: 03(6434)3681